

平成14年度歳入歳出決算額

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越額	実質収支
一 般 会 計	177億4,118万円	163億8,957万円	5億9,259万円	7億5,902万円
特 別 会 計				
国民健康保険会計	34億3,732万円	30億9,374万円	0円	3億4,358万円
介護保険会計	15億6,698万円	14億9,376万円	0円	7,322万円
老人保健会計	35億6,181万円	35億5,739万円	0円	441万円
公共下水道会計	43億9,270万円	42億9,041万円	3,341万円	6,888万円
特定環境保全公共下水道事業会計	4億3,524万円	3億6,702万円	989万円	5,833万円
農業集落排水事業会計	2億6,888万円	2億3,657万円	0円	3,231万円
東海環状自動車道工事残土処分事業会計	5億1,801万円	4億6,546万円	0円	5,255万円
小 計	141億8,093万円	135億435万円	4,330万円	6億3,328万円
合 計	319億2,211万円	298億9,392万円	6億3,589万円	13億9,230万円

市には、「一般会計」と「特別会計」があります。

「一般会計」では、市税、地方交付税、国・県支出金などを主な歳入財源として、市の将来に向けた施策を中心にお金が使われました。それに対して「特別会計」では、特定の事業を行うために、国・県支出金のほか受益者負担金を主な歳入財源として、「国民健康保険会計」など7会計が運営されました。

一般会計決算額は、歳入が177億4,118万円(対前年度比△5.5%)、歳出が163億8,957万円(対前年度比△6.1%)となっています。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す事業に充てる額(翌年度繰越額)を差し引いた実質収支は、7億5,902万円の黒字決算となりました。

また特別会計の総決算額は、歳入合計が141億8,093万円(対前年度比△0.5%)、歳出差合計が13億4,355万円(対前年度比+0.4%)となり、7会計とも黒字決算となりました。

■決算の概要

特別会計を見てみよう

★国民健康保険会計 月平均8,248世帯、被保険者17,699人の医療費などの運営に携わりました。平成14年度は、増え続ける医療費の適正化対策として、レセプト点検および医療費通知内容の充足などを実施しました。

★介護保険会計 平成14年度末の高齢者人口は8,676人で、介護認定者は月平均879人です。平成14年度の介護給付費の内訳は、在宅サービスへの支出割合が施設サービスを上回り、支出全体の約52%を占めており、介護保険制度の理念に沿った在宅重視の運営となっています。

★老人保健会計 平成14年度の老人医療費の受給対象者は5,971人で、前年度よりも144人の増加となりました。医療費の伸びは、介護保険制度の施行や、老人保健制度の一部改定が影響し、平成13年度と比べ微増にとどまっています。

★公共下水道事業会計 歳出では、下水道建設費の占める割合が72.9%と高く、平成14年度の整備面積は80.6ヘクタール増加し、整備済面積は841.1ヘクタールとなりました。

★特定環境保全公共下水道事業会計 歳出では、下水道建設費の割合が47.3%を占め、平成14年度の整備面積は0.3ヘクタール増加し、整備済面積は189.2ヘクタールとなりました。

★農業集落排水事業会計 歳出では、農業集落排水建設費の割合が53.2%を占め、平成14年度の整備面積は2.0ヘクタール増加し、整備済面積は351.6ヘクタールとなりました。

★東海環状自動車道工事残土処分事業会計 平成14年度は、約16万立方メートルの土砂の受け入れと、整地工事を行いました。(下米田町信友地内)



子育てサロン「サンサンルーム」で活動する親子たち



完成した市道正理インター線上野トンネル付近

市では、皆さんが納められた税金や、国・県からの補助金などを財源に、第四次総合計画に基づいた事業・施策に取り組んでいます。

平成14年度の一般会計および特別会計の決算が、市議会第4回定例会において承認されました。

今回は、平成14年度中に行った事業・施策の概要について、財政状況の分析とともに紹介します。

平成14年度決算報告

皆さんの大切な
お金の使い道